

みずほCustomer Desk Report 2016/07/13 号(As of 2016/07/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.70 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.51	1.1058	113.36	0.9828	1.2979	0.7535
SYD-NY High	104.98	1.1126	116.39	0.9894	1.3295	0.7658
SYD-NY Low	102.45	1.1053	113.30	0.9796	1.2974	0.7531
NY 5:00 PM	104.67	1.1060	115.88	0.9892	1.3249	0.7622
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.96/15.46		△25RR	1.025	Yen Call Over	
NY DOW	18,347.67	120.74	債券市場	日本2年債	-0.3460	-
NASDAQ	5,022.82	34.18		日本10年債	-0.2700	▲0.3bp
S&P	2,152.14	14.98		米国2年債	0.6891	3.6bp
日経平均	16,095.65	386.83		米国5年債	1.0861	6.5bp
TOPIX	1,285.73	29.94		米国10年債	1.5100	8.0bp
シカゴ日経先物	16,600	455.00	為替市況	独10年債	-0.0910	7.7bp
ロンドンFT	6,680.69	▲2.17		英10年債	0.8280	7.0bp
DAX	9,964.07	130.66		豪10年債	1.9440	4.1bp
ハンセン指数	21,224.74	344.24		USD/CNH	6.6968	▲0.0085
上海総合	3,049.38	54.46		ドルインデックス	96.50	▲0.07
USDJPY 3M Vol	13.12	0.19%	商品市況	CRB指数	190.228	3.52
USDJPY 6M Vol	12.55	0.08%		NY金	1,335.300	▲21.30
EURJPY 3M Vol	13.82	0.04%		WTI	46.800	2.04
EURJPY 6M Vol	13.50	▲0.02%		Dubai Spot	43.23	0.94

東京	東京時間のドル円は102.51レベルでオープン。前日の海外市場にて、英国のキャメロン首相の後任にメイ内相が就任することが決まり、政局の不透明感が和らいだことでリスクセンチメントが改善。日経平均株価は前日に続いて続伸となる。ドル円も堅調推移を見せ、仲値公表後には103円台を回復、一時103.29をつける。しかしその後は材料難の中で上昇一服となり、利益確定売りから102円台後半まで下落するが、根強い円売り需要が下値をサポート。引けにかけては再び103円台を回復し、結局103.30レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103.30レベルでオープン。注目された石原経済財政担当記者会見では補正予算に関する規模等の具体的詳細は示されず失望感から小緩む場面もあったが、米株先物(ダウ・ジョーンズ)が歴史的高値圏で取引され欧州株が堅調に推移したことが上昇をサポート。加えて、日本政府が16年度物価見通しを今年1月時点の予想から0.8%ポイント引き下げ0.4%に下方修正したことで、日銀への追加緩和と圧力が強まるとの思惑もドル円サポート材料となり、103.95円まで上昇。結局103.90レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1086レベルでオープン。新規材料乏しい中、1.11を挟んで小動きし、1.1093レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3081レベルでオープン。年内に離脱手続きに着手しない方針を示すメイ内相の首相就任が決定したことを好感するポンド買戻しの流れが継続し底堅い展開。今月1日に開催された英金融行政委員会(FPC)の議事録が公表され、銀行の資本要件緩和の決定に反対者がいなかったこと等が明らかとなると1.3188まで上昇し、1.3160レベルでNYに渡った。(ロンドン7月12日 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は103.90レベルでオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎドル円は104円台を示現。ブラッド・セントルイス連銀総裁(投票権有)は6/30の講演時と同様「今後2〜3年は低成長が続く」等ハ派な発言をするも、米金利が上昇し、どうも史上最高値を更新する中では影響は限定的となり、ドル円は下値を切り上げ104.66まで上昇。その後も株式市場が一段と上昇する動きを受け104.98まで上昇する。終盤に掛けては調整から小緩むものの底堅い推移が続き、104.67レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが強まったことから1.1126まで上昇するが、その後は狭いレンジでの推移が続き、1.1093レベルでNYオープン。朝方は、狭いレンジでの推移が暫く続くが、米金利が上昇する展開にドル買戻しが優勢となり、1.1061まで下落する。午後に入りユーロがやや買戻される局面もあったものの、再びドル買いが優勢となったことからユーロドルは1.1060まで反落し、そのまま安値圏でクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:尾身・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月12日	13:30	日 第3次産業活動指数(前月比)	5月 -0.7%	-0.7%
	15:00	独 消費者物価指数・確報値(前月比/前年比)	6月 0.1%/0.3%	0.1%/0.3%
	18:00	英 カーニー・BOE総裁、議会証言	-	-
	22:15	米 タルー・FRB理事、講演	-	-
	22:35	米 ブラッド・セントルイス連銀総裁、講演	-	-
	23:00	米 卸売在庫(前月比)	5月 0.1%	0.2%

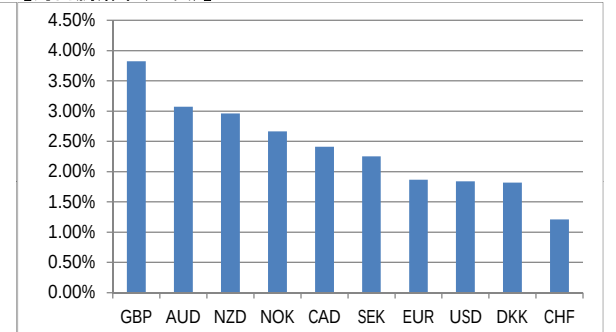
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月13日	10:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁、講演	-	-
	13:30	日 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	5月 -/-	-2.3%/-0.1%
	18:00	欧 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	5月 -0.8%/1.3%	1.1%/2.0%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	7/8週分 -	14.2%
	22:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	23:00	加 BOC政策金利	- 0.50%	0.50%
7月14日	3:00	米 ペー・ジュブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-105.50	1.1000-1.1150	114.50-117.50

【マーケット・インプレッション】

昨晩海外時間のドル円は続伸。103円付近から断続的に上昇し高値104.98円を更新した。英キャメロン首相後任に年内EU離脱手続きを開始しないとメイ内相が決まりリスクセンチメントが改善。本邦でも政府筋より16年度物価見通しを今年1月時点の予想から0.8%引き下げ0.4%に下方修正する方針が示され緩和期待が高まりドル円の上昇圧力となった。105円付近では上値重く終盤は104円後半まで反落した。本日のドル円相場は一段の上昇となるか見極める相場展開となる。105円トライが成功すれば一段の上昇も考えられる。上昇の勢いが継続するのが注意深く見極めたい。